

3-14 蒲生干潟見守り事業

事業目的

国指定鳥獣保護区特別保護地区及び県自然環境保全地域に指定されている蒲生干潟(仙台市宮城野区)は、人間の利用や車輛の進入、漂着物などにより、鳥類の営巣等が阻害されることがあります。

そのため、飛来する渡り鳥などを中心とした干潟環境の安定を確保し、生物多様性の保全を図ります。

また、干潟の自然環境について、震災前後の既存研究データの取りまとめや、実態調査を行います。

事業内容

平成29年度事業費 2,000千円

蒲生干潟の震災前後の基礎調査取りまとめ

- 震災前後の既存データ収集及び取りまとめ
- 現在の自然環境の実態調査

事業効果

CO2削減効果	—
その他(干潟保全面積)	5ha



被災後の蒲生干潟周辺の航空写真(H24.8)

現状



バイク等が進入するなど、利用者のマナーの低下により、鳥の営巣・採食・休息が阻害されています。

税導入後のイメージ



干潟利用マナー向上のための、柵及び標識を設置するなど、鳥類が安心して営巣、採食、休息できる場所を確保します。